

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会報第十二号 - 2011 年 6 月 20 日 - 発行者 AAC OB 会理事会

山岳部はこの春、新入部員 8 名が加わり総勢 32 名の大所帯となりました。夏合宿は上級生は北海道の山、下級生は北アルプスを目指し活動しているとのこと。

総会開催

5 月 20 日 (土) 麻布学園の食堂にて 2011 年度の総会が開催されました。

■ 役員人事

武藤光盛会長の任期 3 年が満了し、新たに鮫島員允 (S38) さんが会長に選出されました。

■ 会則改訂

会長・理事長・理事の役割を明確にすることと各役員の任期をすべて 2 年にそろえるため、会則の一部を改訂しました。

平成 22 年度会計報告

■ 一般会計

収入の部		支出の部	
会費	144,000	山荘税金	68,060
会費繰延	100,000	通信連絡費	126,124
忘年会余剰	6,682	現役サポート	12,420
受取利息等	45	テント (現役に貸与)	50,800
		慶弔費	27,772
		ホームページ費用	50,800
収入合計	250,727	支出合計	335,976

当期収支 △ 85,249
 前期剰余 524,918
 当期末剰余 439,669

■ 山荘会計

収入の部		支出の部	
山荘使用料		ガス代	32,670
会員大人	69,600	電気代	86,740
会員小人	-	水道代	37,680
非会員大人	333,000	灯油代	24,200
非会員小人	23,400	事務消耗品費	2,940
暖房費	16,000	修繕費	56,710
カーペット積立金戻入	100,000	支払保険料	18,200
受取利息	112	支払手数料	1,470
		カーペット代	23,520
		冷蔵庫	80,155
		雑費	5,278
収入合計	542,112	支出合計	373,403

当期収支 168,709
 前期剰余 323,959
 当期末剰余 492,668

新会長からのご挨拶



武藤光盛さん (S42 年卒) よりより会長のバトンを受け取りました。若手会員のプレゼンスを広げたいと努力してしながら、会長の若返りに逆行することになって大いに忸怩たるものがありますが、会長と理事長の役割分担を明確にする事によって、小生でもお役に立てることがあるのかと考えお引受けいたしました。

最長老 (昭和 22 年 1947 年卒) から最若年 (平成 22 年 /2010 年卒) まで 67 年の年齢差があります。とてつもない事をお引受けしてしまったと、今になって愕然としています。とにかく大年寄りもヤングボーイもこの中で楽しんでいただける会として、また次の時代の為に若手への軸移動に努力をしたいと考えます。さらには、驚くべく現役部員数の増大に少しでもサポートできる OB 会でありたいとも考えます。理事会および会員の皆様の応援をぜひともお願いいたします。

部員の声



今年はやる気のある中一が 8 人も入部し、山岳部は中一から高二まで計 32 名を抱える大所帯となりました。合宿に限らず通常の部活動にも多くの部員が参加してくれ、部室に部員が入りきらない様子であることは、統率のとり難さを感じさせることもありますが、それでもやはり非常に嬉しい限りです。

今年の夏合宿は、高校生と中三は北海道に、中二と中一は北アルプスに行く計画をたてています。移動も含めれば約 10 日前後というかつてないほどの大規模な合宿に、かつてないほどの大人数で挑むことは、きっと僕の想像を遥かに上回る困難が待ち受けていると思います。しかしそれを乗り越えてこそ、山岳部は弱小部という固定概念を取り払えるのだと僕は考えています。合宿を成功させるために、部員同士のコミュニケーションを積極的にはかり、日々たゆまぬ努力をしていきたいです。【中川航輔 (高二)】



写真は扇山山頂で。2011/5

会員往来

吉田実さん (S25) 2010 年 10 月 23 日に亡くなりました。心よりご冥福をお祈りします。

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会報第十二号 - 2011 年 6 月 20 日 - 発行者 AAC OB 会理事会

新顧問の先生からのご挨拶



初めまして。今年度から山岳部の顧問となる山廣です。僕自身は山登りの経験が非常に浅いので、これからどうなるのだろうかとの先を不安に思っています。しかし、先日山岳部の活動に参加して高尾山・扇山と登りましたが、これは純粋に楽しんで登ることができました。ですから、次の登山を不安に思いながらも楽しみにも思っているという状況です。しかしながら、やはり顧問であるからには生徒の命を預かる者としての意識を強く持たなければならないと考えています。今後山岳部では、顧問としての意識も忘れずに楽しんで活動に参加していきたいです。【山廣真之先生(物理)】



3年間の講師経験を経て、今年度より専任として勤めております。この度、縁あって山岳部の顧問をさせていただくことになりました。ただ、「縁あって」とは申しましたが、今までの私の人生において必ずしも山と縁があった訳ではなく、麻布学園教諭としても山岳部顧問としても重鎮であられる増子先生の巧みな誘導により、「その気にさせられた」というのがきっかけです。それでも、これまでに実際に月例山行に何度か同行してみても、山登りの魅力が垣間見えた気分になっているので、これを機に山登りを趣味にしておこうかと思っております。現在は全くの初心者ですが、先輩顧問の先生方からできる限り多くのことを学び、最終的には生徒たちの安全を確保しつつ、指導もできるような顧問になれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。【江田雅人先生(英語)】

会員投稿

今回は昭和 28 年、38 年、48 年、平成 5 年卒業の会員にお願いしたところ、次の 5 名の方から近況や山の思い出が寄せられました。

■ 三橋正道 (S28 卒)

同期、森田は毎年ヒマラヤを撮りに行って美しいカレンダーに仕立てている。

「いいか、ピッケルのベルトは必ず手首に固定しろ」先輩の言葉が私を救った。その時、冬富士の単独行でともかくも頂上に立った。しばらくは積雪の快適な下降であった。いきなり氷の斜面に変わった。ヤバイと思った瞬間、体はバランスを失って飛ばされ、急速度の滑落が始まった。仰向けの状態になって、手首に繋がったピッケルを手放し頭上で小ぎざみに鳴った。やっとこれを掴まえ、一転して体の下に引き込み、ブレードに体重をかけた。ゴツゴツとした振動を受け少しずつ速度を落として止まった。その後一ヶ月右鎖骨のあたりは痛みが消えなかった。

■ 高橋宗則 (S38 年卒)

37 年間の広告代理店勤務を終え、間もなく 7 年です。昔の職場も担当したクライアントも世代が変わり、些か寂しい気分させられる昨今です。現役時代には思うようにならなかった映画や読書にのめりこむ一方で、ほぼ毎月のように以前の職場の仲間達と飲み会を繰返しています。時折は「ブラブラ・グビグビ会」と称して都内各所の、仕事では殆ど縁のなかったエリアを散策し、居酒屋でめる会もやっています。3 月の大震災には衝撃を受けました。特に、麻布の同期会のグループメールに寄せられた原発事故に対する疑問に触発され、調べれば調べるほど腹が立ち、美しい自然が戻るのか、先の見えない状況に暗澹たる気持ちにさせられています。来週は関連した集会に参加する予定。山についてはアドバイスするばかりで実践から遠ざかっておりますが、こんな感じで結構忙しく過ごしております。

■ 溝口洋三 (S38 年卒)

東日本大震災で損害保険会社からの依頼を受け、被災した建物の調査に水戸市に行っています。私の担当した茨城県内の百ヶ所近い現場で、多くの巨大地震の爪跡を見えています。県内は日本瓦が落下しブルーシートが目立ち、液状化した造成地で傾いた建物、復旧が遅れている地割した道路、落下して交通止めの橋、崖崩れやひびの入った多くの建物等、目の当たりにしています。県内各地で大勢の人々から当日の恐かった模様を聞くことができました。木造住宅は基礎や外壁にひびわれの被害が目立ち、ほとんどの住宅が内壁に損傷を受けています。まだまだ余震が続く中、地震国の耐震対策をどうしたら良いか体験を通して考えているところです。

■ 高野久 (S48 卒)

時期外れの育児に追われる日々。当たりが「人生最悪」の宝くじは買うはずもなく、まだ煙も見ない早々に西方に逃走中の高野弟と合流「風だ」「雨だ」と逃げ回り今は自作の線量計で小学校の運動会測って不審がられる。



山方面は近頃は一回り年下からも「銀山湖工事で止めてるから、山越えてシャケ釣りに」とか「ここ 3 日で 180 センチは積もってるらしいですよ。明日行くっきゃないですよ へーきですよ」怖ろしい誘いも無く、そこらで親子で小魚釣りとか。

釣った魚放すのは焼肉食ってる自分となんだか整合しなく、しばらく近所じゃダメそう。その上暮らし向きは不勉強がたりサッパリだから、嫁に「父子で疎開したら！仕送りは月 3 万だったら出す」と宣告されてる。(写真：沖縄本部沖にて)OB 会、諸先輩にはたいへんご無沙汰し、申し訳ありません。元気にやっております。

■ 梅村裕 (H5 卒)

ご無沙汰しております。37 歳になりました。ビール腹と若白髪がいかんともしがたいです。現在は某インターネット書店で働いています。電子書籍の波に揉まれて溺れそうですが、日々奔走しています。

学生時代からの音楽活動は懲りずに続いています。昨年は忌野清志郎追悼バンドの練習とライブに専念しましたが、最近オリジナル曲の充実をはかり、マイルスとデューク・エリントン研究中。



えーと、それと、昨年暮れに結婚しました。その時点で、妻とは学生時代から付き合いはじめて 13 年、同棲も 7 年目だったので、生活上の大きな変化はないのですが、気持ちとしては "(just like) Starting over" です。長い人生、この先どうなるか分かりませんが、こんど妻と雲取山でも行って、来し方行く先を考えてみます。

麻布学園山岳部 OB 会事務局・藤田信一